

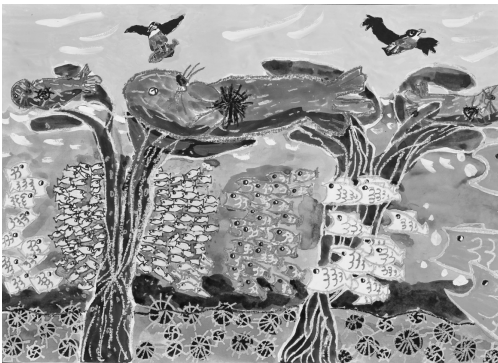
北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 浦田日出雄
 事務局長 齋藤 昇一
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 北海プリント
 TEL (011)811-2396

第33回 絵と文による冬休み読書大賞

昭和55年度から冬の読書感想文コンクールとして実施されてきた『絵と文による冬休み読書大賞』は今年で33回を迎えましたが、誠に残念ながら諸般の事情により今回をもって終了となります。審査の結果、応募総数3,069点の作品の中から、絵と文部門の大賞一席は北海道北広島西高等学校3年山内いづみさんが、読書感想絵ハガキ部門の北海道学校図書館協会賞は、札幌市立福住小学校2年中村優作さんが選ばれました。両部門ともに読書から受けた感動を想像力豊かに表現した作品が上位をしめました。次頁からは、大賞4作品の感想文、上位入賞者一覧等を紹介します。

絵と文部門



大賞二席
 釧路市立鳥取西小3年
 太田明輝



大賞一席
 北海道北広島西高3年
 山内いづみ

読書感想絵ハガキ部門



北海道学校図書館協会賞
 札幌市立福住小2年
 中村優作
 「へーたろーくんお元気ですか？」

(『へちまのへーたろー』二宮由紀子 著)



大賞三席
 上富良野町立上富良野中1年
 鈴木 絵



大賞三席
 釧路市立鳥取西小6年
 太田美月

特別賞・学年賞・学校賞 受賞者一覧

《絵と文部門》

大賞一席	動物園の向こう側	北海道北広島西高	3年	山内いづみ	『夢の動物園 旭山動物園の明日』
大賞二席	生き物はみんなつながっているんだね	釧路市立鳥取西小	3年	太田 明輝	『たべるとはつながること しよくもつれんきのはなし』
大賞三席	受け継がれた命	上富良野町立上富良野中	1年	鈴木 絵	『クジラと海とぼく』
大賞三席	「ハチツナシレ」はすてきなあいさつ	釧路市立鳥取西小	6年	太田 美月	『おじいちゃんが、わすれても…』
小学校低学年賞	ぼくにもつけて、き本のこぶ	北海道教育大学附属函館小	2年	吉田 千桜	『こぶとりたろう』
小学校低学年賞	たからものいっぱい島	室蘭市立旭ヶ丘小	2年	齊藤 心音	『あらしのよるのぼんごはん』
小学校中学年賞	じぶんの木	旭川市立新町小	3年	矢三 きの	『じぶんの木』
小学校中学年賞	愛情いっぱいの子ザル	北海道教育大学附属函館小	4年	野呂 拓海	『ちいさな飼育員 淡路島ニホンザルのおはなし』
小学校高学年賞	あじさいからの贈り物	八雲町立東野小	5年	渡部 真緒	『小道の神さま』
小学校高学年賞	自分自身と向き合って	北斗市立大野小	6年	中村 奈珠	『ぼくがバイオリンを弾く理由』
中学生賞	金色的林檎に祈りをこめて	七飯町立大中山中	1年	中島 結	『レネット 金色的林檎』
中学生賞	「リリース」を読んで	札幌市立青葉中	2年	加藤 安岐	『リリース』
高校生賞	紡ぐ想い、繋がる未来	市立函館高	1年	中島 滯	『チカッ美恵子の世界 アイヌ文様と詩作品集』
学校賞	北海道教育大学附属函館小学校				

《読書感想絵ハガキ部門》

北海道学校図書館協会賞	へーたろーくんお元氣ですか？	札幌市立福住小	2年	中村 優作	『へちまのへーたろー』
北海道新聞社賞	卵を守る鮭	今金町立今金小	3年	山田 一晴	『星になった鮭』
北海道新聞社賞	「風景」を読んで	札幌市立青葉中	1年	谷口 琴音	『風景』
北海道新聞社賞	神去村の自然	札幌光星高	1年	山本華菜子	『神去なあなあ日常』
小学校低学年賞	つよく生きるウミガメたち	北海道教育大学附属釧路小	1年	工藤 一輝	『いけいけ どんどん！ ウミガメたちのものがたり』
小学校低学年賞	『さかながサッカー』	北広島市立西の里小	2年	山田 陽友	『かしこい さかなは かんがえた』
小学校中学年賞	私も黒がすき	函館市立中央小	3年	佐々木徳乃華	『ピンクがすきってきめないで』
小学校中学年賞	少女チヨへ	苫小牧市立錦岡小	4年	高橋知佳子	『アンモナイトの森で 少女チヨとヒグマの物語』
小学校高学年賞	「無関心が最大の敵」	札幌市立手稲北小	5年	竹達 望結	『チヨコレートと青い空』
小学校高学年賞	チヨウになって	森町鷲ノ木小	6年	尾張 陽菜	『雲じゃらしの時間』
中学生賞	手と手、心と心	七飯町立大中山中	1年	中島 結	『メジルシ』
中学生賞	Relation	立命館慶祥中	3年	久保 舞華	『最強の天使』
高校生賞	ありがとう	北海道北広島西高	3年	村田ひとみ	『最弱ナイン 不登校球児の青春』
学校賞	札幌市立福住小学校・北海道北広島西高等学校				

大賞一席

動物園の向こう側

北海道北広島西高等学校 3年 山内いづみ

夢の動物園——。

道北の、寒さ厳しい旭川に、その動物園はある。「行動展示」という方法により、野性動物の、生き生きとした姿を見ることが出来るのです。

かつて北海道には、エゾオオカミが生息していましたが、人間が欲望の為に絶滅させてしまったのです。そんな歴史があった事に、とても悲しくなりました。私たちは、人間社会の発展の為に生態系に手を出し、自然の摂理を壊し続けている。「真の自然」をわかっていない人間が、自然界に土足で踏み込んで都合のいい所だけ関わり、一方的な感情を押しつけいい気になっている。人間の残酷なまでの行いにより、真っ先に犠牲になってしまうのは、野性の命（動植物）であるということをおぼろげにわかっていない。

世界のいたる所で起きる自然災害は、人間が「不自然」にしてしまった結果なのかもしれない。「これ以上自然の中に入って来ないで！」と自然が憤っているようだ。

最近、地球がなにかおかしいぞ、と言って慌てている人間達。この美しい地球で、人間も野性動物も、命あるもの全て共に生きて行く為には、これ以上壊してはいけないし、壊してしまったものは、直さなくてはならない。簡単に直せるものではないし、絶滅してしまったものは、二度と再生することはないけれど……。

動物園では、野性動物のありのままの姿を見ることが出来る。「自然の命」が凝縮している場所だと思う。そこには動物からのメッセージがあるような気がする。だから自然は人間だけのものではなく、地球上に生きる全ての命の為にあるということ、人間も同じ動物であり自然の一部なのだと思える。気づくことが出来ると思う。

将来、自分の子供を最初に連れて行く場所はもう決めている。「自然の命」がある場所。純粋な子供は、必ず何かを感じると思うから。

(『夢の動物園 旭山動物園の明日』 坂東 元 作)

大賞二席**生き物はみんなつながっているんだね**

釧路市立鳥取西小学校3年 太田明輝

この本はとても親切なので、食物れんさのことがとてもよくわかりました。どんな生き物の食べ物でも、始まりは植物だということや、海の中でも食物れんさは同じだっていうことを知りました。

百年前、アメリカの西海岸でおきた、たくさんのラッコをころした事けんにはびっくりしました。人間が、毛皮を取るためにラッコをころしたので、ラッコの食べ物であるウニがものすごくふえてしまい、ウニの食べ物であるケルプが全めつして魚もいなくなって、あれはてた海になったことです。

世界中の植物と動物は、食物れんさでつながっているの、その一つでも食べ物のつながりがこわれたら、食べ物のつながりが全部かわってしまうという大へんなことになってしまいます。

ぼくは、この地球に生きている植物や動物や自ぜんを、もっともっと大切にしていかなければならないと思いました。

(『たべることはつながること』パトリシア ローバー 作)

大賞三席**「ハチツナシレ」はすてきなあいさつ**

釧路市立鳥取西小学校6年 太田美月

杏にとっては、あんなに大事な大事なテニスの試合だったのに、それを放り投げておじいちゃんを探しに行くことを選んだ！五年生の女の子が選んだと思えないあの強い決断！

私にできるだろうか？大好きなバレエのコンクールを欠席して、家族の一大事のことにかけつけることができるだろうか？迷って迷って立ちすくんでしまうにちがいない。

そういう杏の心を支えていたのは、親友の志津ちゃんやあこがれの坂上くん、両親と弟と、それにおじいちゃん。みんなの応えんや心のふれ合いがあったからだと思う。

仙崎家だけのあいさつ「ハチツナシレ」は「安心の、希望の、強いきずなの、そして思いやりの合い言葉」で、家族は心の深いところにつながっていたんだ。「認知症」のおじいちゃんに対する杏のやさしい気持ちは、そんなところからじょじょに生まれたにちがいない。私も杏を見習いたい。太田家のあいさつ言葉も家族みんなで考えてみようかな。

(『おじいちゃんが、わすれても…』大塚篤子 作)

大賞三席**受け継がれた命**

上富良野町立上富良野中学校1年 鈴木 絵

私は犬と散歩に出る。少しすると、川のせせらぎが聞こえる。そこには小さなプランクトンや珪藻類がいるだろう。川を渡ると森が広がる。森にはキツツキが木をつつく音がこだまする。キツツキは小さな虫を見つけ、食することだろう。別の木をカサコソ伝え歩く音がしてそちらを見れば、丸い目をしたエゾリスと目が合う。松ぼっくりについた実を食し、いらなくなったカサを地面に落とす。空にはトンビが円を描いて飛んでいる。この自然の中において、人は人間が一番賢く、一番偉いと思いがちだ。果たしてそうなのだろうか？

東京タワーの展望台から見る下界はゴミゴミしたものだった。マッチ箱よりも小さな建物の間で豆よりも小さな車が細い道を右往左往し、ゴマ粒のような人がうごめいている。あんなに小さな私が、あんなに小さな家の中で、姉と比較して自分は成績が悪いだの、明日のテストが心配だのと悩む。あんなに小さな世界で、人と人が戦争を起こし、殺し合いをする。地球は45億年前に生まれ、生き物は40億年前に生まれたというのに。それが脈々と受け継がれてきているというのに。ちょっと大きさや形が違うだけなのに。

小さなアリはいつ、人に踏まれて一生を終えるかわからない。けれどせつせと冬のために食料をたくわえる。小さな種から生まれた花は、ひと夏の間で成長し、かれんな花を咲かせ、そして枯れていく。しかしアリは子孫を残し、花は種子を作って仲間を増やす。人間も同じように子孫を残し、やがて死んでいく。みんな同じ一つの命なのになぜ人は自分が一番偉いと思うのだろうか。なぜ比べたがるのだろうか。

この世にある命は皆、40億年もの歴史を持っている。私が今ここに居るということは奇跡と言ってもおかしくはない。そのことに誇りをもって、日々感謝しつつ生活していきたい。

(『クジラと海とぼく』水口博也 作)

奨 励 賞 一 覧

【絵と文部門】

小学校低学年（16名）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
しあわせな木	花田 あおい	札幌市立手稲東小	1	みずならのいのち
ぼくもホネホネになったよ	窪田 頼人	函館市立昭和小	1	ホネホネすいぞくかん
こぶんなんかいらぬよ	伊田 紗雪	札幌市立藤野小	2	こぶとりたろう
おとうさんの手を読んで	浅田 里優	石狩市立生振小	2	おとうさんの手
つながる気もち	増田 陽月	室蘭市立武揚小	2	あらしのよるのばんごはん
おや子のきずな	石岡 雅貴	森町立森小	1	てるちゃんのかお
あかねことあおねこ	川辺 瑚々	士別市立士別小	1	わたしはあかねこ
「わたしのしあわせ」	加藤 花奈	室蘭市立旭ヶ丘小	2	きたきつねのしあわせ
大好きなおじいちゃん	脇坂 亜紀	室蘭市立武揚小	2	きたきつねのしあわせ
正直と勇氣	穴吹 頼玖	旭川市立愛宕東小	2	皇帝にもらった花のたね
人間がわかった	田畑 畑駿	北海道教育大学附属函館小	2	エゾオオカミ物語
『さかなくんのしんか』	大津 知也	鷹栖町立北野小	2	かしこい さかなは かんがえた
よかったね！びん	戸村 真友	遠軽町立遠軽小	2	皇帝にもらった花のたね
がんばったへーたろー	江城 田俊	沼田町立沼田小	2	へちまのへーたろー
かしこいさかなとぼうけん	恩田 旭	音更町立東士幌小	2	かしこい さかなは かんがえた
へーたろーはあきらめない	砂原 希乃風	函館市立中の沢小	2	へちまのへーたろー

小学校中学年（14名）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
子どもを守る母鯉	小西 陸斗	札幌市立しらかば台小	3	星になった鯉
「オランウータンに会いに行く」を読んで	佐藤 耀人	北海道教育大学附属函館小	3	オランウータンに会いに行く
2人の時間	榊原 さくら	福島町立福島小	3	ニコとねずみのすてきなせかい
「レンタルロボット」をよんで	小椎内 謙多	北海道教育大学附属旭川小	3	レンタルロボット
サウスポー	小山尾 海風	札幌市立しらかば台小	4	サウスポー
日本とはちがう差別	花田 和葉	札幌市立手稲東小	4	わたしのとくべつな場所
地雷のない世界をつくるために	鈴木 俊太郎	札幌市立福住小	4	左手がなくて右は負けない！ カンボジア、地雷と子どもたち
平和な世界	三田 隆登	八雲町立東野小	4	レンタルロボット
思い出ありがとう	松川 優花	八雲町立八雲小	4	レンタルロボット
みんなが笑顔に…	本間 吏輝也	函館市立亀田小	4	左手がなくて右は負けない！ カンボジア、地雷と子どもたち
なくなれ震災	上松 愛	旭川市立知新小	4	親子のための地震イツモノート
鳥を愛する心と思いで	工藤 羊平	北海道教育大学附属旭川小	4	牛をかぶったメランキートン兄弟の物語*
イツモが支えの夜	小林 拓暉	室蘭市立知利別小	4	親子のための地震イツモノート
本当の気持ち	小仙 丸	室蘭市立知利別小	4	サウスポー

小学校高学年（15名）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
「シマリス」を読んで	吉田 紘子	札幌市立青葉小	5	北国からの動物記 シマリス
そよかの大切な場所と時間	長月 そよか	札幌市立手稲北小	5	小道の神さま
冬眠の準備をするシマリス	野谷 利保奈	古平町立古平小	5	北国からの動物記 シマリス
神への感謝する気持ちがまつた儀式	内藤 蒼人	千歳市立緑小	5	縄文大使 カックウとショウタのふしぎな冒険
アカゲラの強さを学びたい	竹本 香織	八雲町立東野小	5	アカゲラ キツツキの森へ
メダワセ!! エリックさん	佐々木 来都	八雲町立東野小	5	チョコレートと青い空
指きりをした約束の雪だるま	橋本 佳奈	北海道教育大学附属函館小	5	チョコレートと青い空
ぼくたちは空でつながっている	羽根 秀和	伊達市立伊達西小	5	チョコレートと青い空
ガーナの人達のためにできること	高山 遥	室蘭市立海陽小	5	チョコレートと青い空
決断	八柳 杏	札幌市立伏見小	6	おじいちゃん、わすれても…
子っこヤギの体で	山角 咲良	音更町立東士幌小	6	子っこヤギのむこうに
アンモナイトの森と太古の生物たち	窪田 海人	函館市立昭和小	6	アンモナイトの森で 少女チョコとヒゲマの物語
竜神に出会う夢	中港 花音	旭川市立啓明小	6	竜の座卓
一つとして大切ではない物はない	小手森 佳純	釧路市立桜が丘小	6	マリモを守る。若菜勇さんの研究
希望の筆	前田 桃乃	登別市立富岸小	6	希望の筆 ヲウん症の書家・金澤翔子物語

中学校・高等学校（7名）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
『飛べ！「はやぶさ」』を読んで	吉田 朗子	札幌市立青葉中	1	飛べ！「はやぶさ」 《小惑星探査機0億キロ奇跡の大冒険》
最強とは何か？	永田 彩香	札幌市立青葉中	2	最強の天使
ピアノが結ぶ心	櫻間 麻友	旭川市立北門中	2	ピアノはともたち 奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密
自分に向き合って生きる	小安 玉裕	釧路市立山花中	2	奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密
家畜の立場	小安 宅真	札幌市立発寒中	3	羊に名前をつけてしまった少年
幻想曲と月光	古口 絵里	札幌聖心女子学院高	3	シューマンの指
成長	藤本 倫佳	北海道北広島西高	3	僕の明日を照らして

【読書感想絵ハガキ部門】

小学校低学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
ありがとうてるちゃん	佐々木 柚葉	札幌市立福住小	1	てるちゃんのかお
なかよしかぞく	齊藤 千遊	北海道教育大学附属函館小	1	わたしはあかねこ
ていでんもたのしみ	梅本 悠世	二七二町立二七二小	1	くらくてあかるいよる
「しあわせな、あかねこちゃん」	藤本 愛実	北海道教育大学附属旭川小	1	わたしはあかねこ
すきが いっぱい	三坂 寛斗	函館市立深堀小	1	すきが いっぱい
てるちゃんへ	鎌田 子香	札幌市立厚別通小	2	てるちゃんのかお
かぞくっていいな	兼子 浩一	札幌市立厚別通小	2	きたきつねのしあわせ
友だちっていいね	志水 一星	札幌市立厚別通小	2	ひとりぼっちのかえる
あきらめないさかな	横濱 里利	札幌市立福住小	2	かしこい さかなは かんがえた
てるちゃんのかお	星 晴 怜	登別市立富岸小	2	てるちゃんのかお

小学校中学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
魔法のぼうしと不思議な色	首藤 美結	札幌市立厚別通小	3	ルルと魔法のぼうし
じぶんの木	木村 しづ香	札幌市立福住小	3	じぶんの木
夜空で仲よし	宮宮 奈波	札幌市立福住小	3	ニコとねずみのすてきなせかい
ニコとねずみのすてきなせかい	岩崎 夏実	函館市立東山小	3	ニコとねずみのすてきなせかい
自然の中で生きる強さ	平野 雄大	幕別町立明倫小	3	ヒグマの楽園
地帯はあくまで、生きがなくて負けない!	成田 李	札幌市立平岸高台小	4	カブチン、地帯と字も違!
かっぱの地帯と字も違!	成田 李	札幌市立平岸高台小	4	レンタルロボット
かっこいい健太おにいちゃん レンタルロボット	成田 李	札幌市立平岸高台小	4	レンタルロボット
二匹はいっしょ	鈴木 俊太朗	札幌市立福住小	4	いのちかやけ! タイガとコロア 隣が、
夕やけ2人	田中 美帆	札幌市立福住小	4	レンタルロボット
健太のその後	藤澤 柊生	札幌市立山の手南小	4	レンタルロボット

小学校高学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
約束	中村 駿介	札幌市立福住小	5	チョコレートと青い空
さくのみこうに待つ未来	佐々木 音葉	札幌市立福住小	5	むこうがわのあのこ
チョコレートをみんなへ	首藤 菜緒	札幌市立厚別通小	5	チョコレートと青い空
大切な仲間	山部 智也	幕別町立明倫小	5	太平のカメ日記
2人の冒険	阿部 美羽	函館市立大船小	5	むこうがわのあのこ
忘れないうで	宮田 詩織	札幌市立石山南小	6	竜の座卓
生きていてくれるだけで...	宮若 松重	函館市立磨光小	6	おじいちゃんが、わすれても...
大切な家族	若山 紋奈	函館市立南本通小	6	おじいちゃんが、わすれても...
家族	古川 佳奈	北広島市立西の里小	6	おじいちゃんが、わすれても...
	丹 菊 彩 夏	北広島市立西の里小	6	おじいちゃんが、わすれても...

中学校・高等学校 (13名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
輝く太陽のもとで	竹達 愛紗	札幌市立星置中	1	太陽のくに
ピアノはともだち 奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密	森 宏伸	北嶺中	1	ピアノはともだち 奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密
「だめだと言われても、諦めない」	三浦 菜月	帯広市立帯広第八中	2	ピアノはともだち 奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密
陰で頑張る大切さ	神馬 夢	帯広市立帯広第八中	2	たまごを持つように
太陽のくに	丸 箸 聡	旭川市立神居中	2	太陽のくに
ショパンが聴いてくれるー	上西 咲絵	立命館慶祥中	3	ピアノはともだち 奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密
好奇心という生きる原動力	越智 匠海	立命館慶祥中	3	虫の目で狙う奇跡の一枚 昆虫写真家の挑戦
つながり	松原 礼奈	滝川市立明苑中	3	レネット 金色の林檎
「帰り道」	佐藤 莉望	札幌光星高	1	僕の明日を照らして
僕の明日を照らして	五十藤 有紗	北斗市大野農業高	1	僕の明日を照らして
真実	高島 瑞玲	北海道北広島西高	2	乙女の密告
伝えたい言葉	田村 瑞紀	北海道北広島西高	3	四十九日のレシビ
想い	藤本 倫佳	北海道北広島西高	3	婢伝五稜郭

第33回絵と文による 冬休み読書大賞の審査を終えて

「絵と文による冬休み読書大賞」は、「北海道の子どもたちがその生活の中で豊かな読書を体験してたくましい精神力や優しい心を育み、読書から受ける感動を絵と文によって表現することによって豊かな思考力や創造力、表現力を培う」ことを目的として33年にわたって開催してきました。

今年は、全道各地から、3,069点の力作が寄せられました。読書に親しみ、読書から受けた感動を「絵と文」で表現してくださった皆さん、ありがとうございました。今年は推せん図書を設けず「北海道青少年のための200冊」を読んで応募することになりましたが、優れた200冊の本に親しんだ児童生徒の皆さんがたくさんいたことは嬉しい限りです。

審査には数十人の審査委員が一堂に会し、3回の審査会を経て皆さんの作品を一つ一つ慎重に選ばせていただきました。その結果はお知らせの通りですが、どの作品からも、読書を通して得た感動や喜び、日常生活体験や豊かな心がほのぼのと伝わってきました。また、今年は3校が学校賞となりましたが、学校ぐるみで取り組んだ応募が多く見られたことは素晴らしいと思います。取り組まれた学校の皆様に感謝申し上げます。

「絵と文部門」では、上位に選ばれた皆さんの作品は、のびのびと感動を素直に表現している作品やみずみずしい感性が豊かな表現力を通して伝わってくるものも多く見られました。

審査委員長 大久保 雅人 (札幌市立福住小学校長)

大賞一席に選ばれた北海道北広島西高等学校3年の山内いづみさんの作品「動物園の向こう側」は、それぞれの動物の特徴をよく捉え愛情をもって生き生きと描かれています。旭山動物園の行動展示から伝わってくる野生動物の「自然の命」から学び、自然を守っていかうとする意思がよく表現されている作品です。

「読書感想絵ハガキ部門」では、上位に選ばれた皆さんの作品は、絵と文が紙面にバランスよく豊かに表現された素晴らしいものも多く見られました。

北海道学校図書館協会賞に選ばれた札幌市立福住小学校2年の中村優作さんの作品「へーたろーくんお元気ですか?」は、画面いっぱいに描かれたへちまの絵が素晴らしく、本を何回も読んで身近になった「へーたろー」に宛てた文からほのぼのと気持ちが伝わってくる作品です。

上位入賞作品の紹介はこの「北海道の学校図書館」の他に、2月27日から順次開催する札幌、小樽、旭川、函館での巡回展でも行いますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

残念ながら諸般の事情により、第33回をもって終了することとなります。これまで応募してくださったすべての児童生徒の皆さん、取り組んでくださった学校・保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

第45回 北海道学校図書館研修講座

1月7日(月)～9日(水)、北海道立道民活動センター(かでの2・7)、藤女子大学図書館を会場とし、140名を超える参加者がありました。開講式では、全国図書館協議会(全国SLA)の対崎奈美子先生に、新学習指導要領にも強く述べられている学校図書館の更なる活用の必要性を熱くお話しいただきました。参加者の感想を紹介します。

* * * * *

■校種別選択講座(小学校)に参加して

小樽市立花園小学校 教諭 田牧 剛

採用3年目にして、はじめてこの研修講座に参加しました。しかも、「講師」という恐れ多い肩書で…十分な討議の材料となる発表ができたかどうか自信はありませんが、私にとって、情報の活用や具体的指導について、実に深く考えさせられた、貴重な時間となりました。

発表のテーマは、「インターネット調べ学習を通して」と題し、私が新採用から2年間にわたって行った総合的な学習の時間を振り返りながら、インターネットを使った調べ学習のあり方について考えました。

インターネット最大のメリットは、その楽しさだと思います。様々な情報が、目まぐるしいスピードで飛び交うインターネットの世界。子どもたち向けの勉強サイトでは、動画やマンガで楽しく学べるサイトも多くあり、子どもたちは目を輝かせてパソコンに向かっていました。

反対に、インターネットのデメリットは、多様性の裏返しとして情報がなかなか絞り切れないこと。また、そのスピードゆえに信頼性が低いこと。レポートに使う写真等の著作権の問題…様々なデメリットがあったと思います。

私が出した結論としては、インターネットのデメリットを図書(文献)で補うというものでした。インターネッ

トで調べたことを、百科事典や専門書で詳しく調べる(裏を取る)。インターネットだけにこだわるのではなく、図書室での文献調べもあわせて行うことで、調べた情報を深めていくことが重要だと考えました。

また、討議の場では、全道各地の先生方より「教育課程において、学年に応じたコンピュータの実習を段階的に取り扱っていくことの重要性」、「子どもたちが調べた内容を、担任が受け取り新しい疑問として子どもたちにかえていくこと」、「調べ学習でできた提言をただ発表して終わりというのではなく、自分たちの生活の中において実証していくべき」など、貴重なご意見をたくさんいただきました。

今回の研修講座を通して、学ばせていただいた様々なことを、これからの実践に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



■ナイター講座「いいマンガ、ない？」

むかわ町立徳別中学校 教諭 菅原清美

ナイター講座が始まって3年目、今年度新たに開かれた講座である「いいマンガ、ない？」の司会をさせていただきました。

自身を含めて15名の参加があり、それぞれのお薦めを持ち寄って、和やかな雰囲気ですべて進んでいき、各先生が有意義な情報を持ち帰れたと思います。

今回は、持ち込み本46冊(重複2)+プリントでのお薦め5冊の計51冊が紹介されました。マンガの内容や発行年代、少女・少年・青年・コミックエッセイなどジャンルも多岐に渡りましたので、まず下見と称して自由に手にとってもらうことからスタートしましたが、さっそく真剣に読みふける方や、メモを取ってリスト作りをされる方もいらっしゃいました。

その後、それぞれの持ち寄った本についての宣伝(PR)を行いました。予想通りに先頭を切った司会から時間がまるで足りない状態のままフリートークに入りました。

学校図書館に入れることを考えた選書が多かったため、職業に関わるマンガや、北海道出身の作家の作品が目立ちました。その他には、古典や文学・歴史に関わる著書もありましたが、総じて中学・高等学校向けの作品が多かったように感じます。

その後、児童生徒・教員にどうやってすすめるか?など、先生方の体験談も含めてのお話やその本の時代性、読む対象者の年代による学生時代の傾向の話など、「マンガ」というキーワードからたくさんの方向に話が広がっていきました。この講座は討論ではないので、話される先生方も「これが好き」「これ良かった!」という観点からでしたので、とても楽しそうにお話されていた表情を

見て、「ああ、いい講座だなあ」と司会自身も楽しい時間を過ごさせていただきました。

「マンガ」も学校図書館の重要な蔵書とされる現在、たくさんの種類の情報を得ることができる貴重な機会をありがとうございました。これをきっかけにまた児童生徒・教員の心に触れる、楽しめるマンガに出会えることを願っています。

北海道学校図書館協会 事務局次長(事業部長) 故 飯島道恵先生を偲んで

去る1月5日、飯島道恵先生がご逝去されました。昨年12月2日に、翌日の青少年読書感想文全道コンクール表彰式の準備作業でお会いしたのが、最後となりました。昨年秋頃から入院されておりましたが、表彰式準備作業が滞りなく終えられるよう、私たちに指示を出しておられました。その姿を思い出すにつれて、残念でなりません。

飯島先生は、昭和60年に本協会事務局に入り、広報部、研究部、総務部、事業部で活躍され、事業部長として、青少年読書感想文コンクール、絵と文による冬休み読書大賞等のコンクールに長年携わりました。実務的なことだけでなく、応募してくる子どもたちのことについてよく覚えていて、今回の作品は、昨年よりとてもすばらしいとか、去年はこんな賞だったけれど、今年はどうかと、友達にまた会ったように話されていたことが、印象的でした。いつも子どもたちの読書活動へ熱い情熱を傾けていらっしゃいました。

これまでのご苦勞に感謝いたします。慎んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

(北海道学校図書館協会 会長 浦田日出雄)

学校図書館情報

◆平成25年度 北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 平成25年5月11日(土)
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 1060会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
各支部の総会参加をよろしく願いたします。

◆全国学校図書館協議会各県事務局長会議開催

2月7日(木)東京の学校図書館センターにて開催されました。北海道から浦田会長、大久保副会長、齋藤事務局長が参加しました。2013年度活動方針、事業計画、予算化運動の展開等の協議と全国SLA発行書籍の普及、学校図書館げんきプロジェクト等についての報告がなされました。

翌日8日(金)午前の国会議員への要請活動では、「学校司書の早期法制化」「司書教諭の専任化・担当時間の確保」「学校図書館の資料の充実」の3点を中心をお願いをしてきました。



◆第58回青少年読書感想文全国コンクール

- 表彰式 平成25年2月8日(金) 東京會館
- 北海道からは1名が入賞、14名が入選となりました。
- 全国学校図書館協議会長賞 (高等学校の部 課題図書)
- 伊田菜々花さん(北海道札幌南高等学校2年)
- 「私が侃に惹かれたわけ～素直に真っ直ぐに～」



伊田さんと
『オン・ザ・ライン』
著者 朽木 祥さん

◆第40回北海道学校図書館研究大会・小樽大会のご案内

- ・大会主題 「子どもたちのたしかな成長をめざし つながる 広がる学校図書館」
～主体的な学びを通し、ことばの力を培い、豊かな心を育むために～
- ・講演 詩人 工藤 直子さん
- ・期 日 平成25年9月20日(金)～21日(土)
- ・会 場 小樽市民センター (マリンホール)
小樽美術館・文学館
小樽市立花園小学校・菁園中学校ほか
- ・参加費 4,500円

事務局

事務局長 齋藤 昇一 (札幌市立簾舞中学校長)
TEL 011-596-2320
FAX 011-596-2321
事務局校 札幌市立平和通小学校
事務局次長 野村 邦重
〒003-0027 札幌市白石区本通15丁目北3-1
TEL 011-863-0235 FAX 011-863-0265

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アミニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆第18回全国学校図書館夏期セミナーのお知らせ

- ・会場 函館市勤労者総合福祉センター (サン・リフレ函館)
- ・テーマ 「言語活動の充実と学校図書館」
- ・講演 田中 孝一氏 (文部科学省 主任視学官)
- ・主催 公益社団法人 全国学校図書館協議会
北海道学校図書館協会
函館市学校図書館研究会
- ・参加費 4,000円

◆第36回北海道子どもの本の集いin小樽大会のお知らせ

- ・日時 平成25年8月3日(土)～4日(日)
- ・会場 小樽公会堂、
小樽市民センター (小樽マリンホール)
- ・メインテーマ 「すべての子らに本の楽しさを」
- ・基調講演 児童文学作家 富安 陽子さん
- ・主催 北海道子どもの本連絡会

◆第55回北海道図書館大会のお知らせ

- ・日時 平成25年9月5日(木)～6日(金)
- ・会場 北海学園大学7号館
- ・テーマ・講演講師 鈴木 章 (北海道大学名誉教授)

上記、大会等の詳細については、それぞれの関係ホームページをご覧ください。

編集後記

低温と大雪に悩まされた冬はいつ終わるのでしょうか。暖かい春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。年度末を迎えて皆様お忙しい毎日をお過ごしのことでしょう。今年度の最終号となる本号は、『絵と文による冬休み読書大賞』の特集と1月に開催された北海道学校図書館研修講座の報告等を掲載しております。

33回の長きにわたった『絵と文による冬休み読書大賞』でしたが、応募作品にふれるたび、子どもたちの豊かな想像力と表現力にいつも感心させられました。いつかまたこのような機会が実現することを願ってやみません。今までコンクールにご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

編集：杉本 操 村山 知成 野村 邦重
大久保雅人 齋藤 昇一

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>